

もちどめ おかべつぶ

おおさきちょう

持留・岡別府地域保全協議会（鹿児島県大崎町）

- 大崎町は、鹿児島県の東部に位置し、町南部には広大な畑地帯が広がり国営畑かんによる灌水と温暖、湿潤な気候に恵まれ野菜を中心とした畑作営農が展開されている。
- 本地域は、持留川流域の中山間地に位置する水田地帯であり、近年ほ場整備が完了したため耕作条件は、改善されているものの高齢化による離農や営農意欲の減退が顕著になり、担い手への集積・集約化が課題となっている。
- 当活動組織は、本交付金を活用し、農道や排水路の草刈りを実施している。加えて地域内にある湧水池の生態系保全に取組み、外来種である植物の駆除を定期的に行っている。

・取組面積：30.4ha（田）

・資源量：開水路 10km，農道 11km

・主な構成員：農業者，非農業者，PTA

・交付金：約145万円(R2)

農地維持支払 91万円

資源向上支払 55万円(共同)

活動開始前の状況や課題

- 中山間の狭小な水田であったが、近年ほ場整備が完了したことにより耕作条件の改善が図られた。
- 地域内農家の高齢化や離農により営農意欲の減退が見られるなか、担い手への農地集積に向けた取組みが求められている。
- 基本的な保全活動に加えて地域内の湧水池の生態系保全の取組みが始まっており、在来種であるホタルや魚の生態系に影響を及ぼす外来植物の駆除が課題となっている。



ほ場整備により耕作条件が改善された水田

取組内容

- 湧水池に繁殖する外来植物であるボタンウキクサの定期的な駆除を実施。
- 自然環境研究センターが現地で農業水利施設における外来種対策推進手法検討調査を実施。当活動組織が立会い、今後の対策を検討した。
- 農地中間管理事業を活用した担い手への農地集積に向けた話し合い活動が始まった。



共同活動における外来植物の駆除作業



自然環境研究センターによる現地調査

取組の効果

- 地域住民、建設業者のボランティアも本活動に賛同し、作業に参加するようになったため地域内の生態系保全に取組む意識が向上した。
- 地元小学校の環境学習の場としても親しまれるようになった。
- 話し合い活動を基に推進した農地中間管理機構への貸出は18haとなった。



担い手への農地集積に向けた話し合い活動



小学生によるホタルの幼虫放流活動

